

おおつきししょう しゃふくし かい
大月市障がい者福祉の会

おたより

ねん がつはっこう
2022年7月発行



れいわ ねんど かいめ
令和4年度1回目の「おたより」ができました。

こんねんど ため がつ そうかい ちゅうし
今年度もまたコロナの為、4月の総会が中止となり、

みな かお あ で き か さまざま
皆さんと顔を合わせることが出来ませんでした。コロナ禍による様々なイベントや
かつどう ちゅうし せんそう えいきょう しょくひん ね あ
活動の中止。戦争の影響なのか・・・ガソリン、食品などの値上がり。ストレスがた
まり、不安も募るニュースが毎日流れています。

せめて「おたより」で会員同士がつながっていられますように！今年は少しでも
おお ふくし かい かつどう で き ねが つく よ かんそう
多く福祉の会の活動が出来ますように！と願いながら作りました。ぜひ読んで感想
き
を聞かせてください。



Kさん・絵

かいちょう ふじもと けんぞう
会長あいさつ 藤本 兼三

かいいん みな せいしょう よろこ もう
会員の皆さまにはご清祥のこととお慶び申し

あ あいか
上げます。相変わらずコロナがしつこくなかなか

しゅうそく ねんめ わたし かいちょう
収束しなくて3年目になりますね。私も会長に

ねんめ かいいん みな
なって2年目に入りましたけれど、会員の皆さん

ぜんたい ぎょうじ おこな ざんねん おも
全体で行事を行えず残念に思っています。

まだまだ、3障がい4部会全体での行事は難しいかもしれませんが、各部会ご

とに、みつ かつどう で き おも
とに、密にならないように活動が出来ればいいと思います。

いちにち はや みな とも えがお からだ き けんこう
一日も早く皆さん共に笑顔で会えるように、体に気を付けて健康でいられるよう

がんば
に頑張りましょう。

++ じどうぶかい かつどうほうこく 児童部会の活動報告 ++

ぜんぶかいちよう 前部会長 Hさん

2021年12月13日、1年半ぶりに行われた児童部会は、コロナ禍のため保護者のみの参加となりました。久しぶりに顔を合わせた私たちは、まずは近況報告からスタートしました。子ども達の成長に驚きつつ、コロナ禍にあっても日常生活をしっかりと積み重ねてきたことを改めて感じました。その後は、「『クリスマス会』に向けて」、「進路について」、「来年度の児童部会について」と盛りだくさんの話題で楽しい時間を過ごすことができました。

《 しんやくいんしょうかい 新役員紹介 》

じどうぶかい ぶかいちよう 児童部会 部会長 Kさん

しえんがっこう かよ しょうがくぶ ねん やまびこ支援学校に通っている小学部6年

はは の〇〇〇〇の母、Kです。

はじめの じどうぶかいちよう こころもと 児童部会長で心許ないですが、

すく にんずう みなさま 少ない人数でも皆様と、のほほ〜んと

アットホ〜ムな感じで会が開けたらいいな

おも と思っています☆宜しく願い致します!!



じどうぶかい ふくぶかいちよう 児童部会 副部会長 Oさん

おな しえんがっこうしょうがくぶ ねん 同じくやまびこ支援学校小学部6年、〇〇〇〇

はは ぶかいちよう みな いっしょ の母、Tです。部会長さんと皆様とご一緒に、

こま はな あ 困ったことをみんなで話し合えるような児童部会

でき 出来ますと思います☆宜しく願い致します。

《 新し^{あた}いなかま 》

じどうぶかい
児童部会 K さん

はじめまして。 せんてんせい しっかん ちょうふくしょうがい も さい おんな こ はは
先天性の疾患で重複障害を持つ6歳の女の子の母です。

むすめ はる し えん が っ こ う ねんせい
娘はこの春からやまびこ支援学校の1年生になりました。

つういんさき おも けんがい いま おな
通院先が主に県外だったこともあり、今まで同じ

なや も ち い き かた つな も
悩みを持つ地域の方との繋がりをあまり持てずに

いました。これからふくし かい とお ち い き かた
福祉の会を通して地域の方

とのこうりゅう も うれ
交流を持てたら嬉しいです。

むすめ わたし だい す い ぜん
娘も私もおしゃべりが大好きなので、以前の

ようにたの あつ にちじょう もど
楽しく集まれる日常が戻ってきたら

ぜ ひ はな くだ
是非たくさん話しかけて下さい☆

よろしくおねが
いします。



さく
T さん・作

せいしんしょうがいしゃぶかい
精神障害者部会 S さん

ビー ジョイ すこ みな じゅうじつ さぎょう で き ば ていきょう
「BE-JOY」で、少しでも皆さんの充実した作業が出来る場を提供するように

どりよく し ぜんたい しょう しゃ はたら い ば しょ いえ で
努力しています。市全体でどんな障がい者でも働ける居場所や家から出られる

ば しょ ひ び おも
場所ができればいいなと、日々思っています。

せいしんぶかい あんしん たの ば しょ いえいがい
精神部会でも、安心して楽しめる場所、家以外

でもホッといきやすいば しょ かつどう
場所で活動ができること

ねが
を願っています。



たろう じろうたき
太郎・次郎滝



さく
S さん・作

《 支援学校を卒業して 》 - 進路や就労について先輩からの体験談 -

卒業後3年経って K さん

息子が学校に通っている間から就労に関しては色々な所に見学に行きました。

また、色々なお母さんたちの話を聞いたりして卒業後のことを考えました。

そんな中、就労A・就労B・生活介護など枠があることを知って、自分の子がどこに当てはまるのか知り、それによって近くにどんなところがあるのか、わが子が通えるのか色々考えました。子は生活介護なのですが、この施設はいいなと思っても定員がいっぱいで受け入れてもらえなかったり、定員に空きがあっても子には合わなかったり、受け入れてもらえそうでも週に何日かなら大丈夫ですよ、とか…今、通われている方との組み合わせで何曜日だったらか、施設からギリギリまで返事が来なかったりしたので、どうしたらいいか本当に悩みました。

決まってからも最初4月からという事でしたが、学校と施設の方で話がかみ合っていないくて、利用が5月からになってしまったり、色々な事がありました。

現在は4か所の作業所や施設を利用させてもらって、ほぼ週5日通っています。

食事に再調理が必要な為、2か所はお弁当を持って通います。最初は送迎も利用させてもらいましたが、施設によっては学校と違い運転手だけの送迎なので、重度の子の場合、心配な事もあるかもしれません。ですので、現在はほぼ送迎は私がしています。4か所に通っているのも最初は戸惑うこともありましたが、今の生活にもだいぶ慣れ、子も楽しく生活しています。

今はまだ私が動けるし、子も割と落ち着いているのでいいのですが、この先のことを考えると不安はあります。

何処も定員いっぱいな感じなので、定員や受け入れてくれる施設が増えれば嬉しいと感じています。



そつぎょうご しんろ 卒業後の進路は・・・ Sさん

わたし むすめ さくねん がつ ほうざんりょう にゅうしょ
私の娘は、昨年3月より宝山寮に入所しています。

にゅうしょ き ほうざんりょう しゅう か ほか し せつ しゅう か つうしょ
入所が決まるまでは、宝山寮に週3日、他の施設に週2日通所していました。
へんか きら まいにちかよ ところ よ むすめ せいかつかいご
変化を嫌うタイプだったので毎日通える所が良かったのですが、娘は「生活介護」
では支援が大変らしく受け入れてくれる所が無かったのです。

ほうざんりょうい がい し せつ う ま てきおう しよめ しよめ し せつ もんだい
宝山寮以外の施設には上手く適応できず、1 か所目、2か所目の施設も問題
こうどう して き けつきよくことわ さいご しよ
行動ばかり指摘され、結局 断られてしまいました。最後にもう 1 か所というところ
で、宝山寮に空きができ、入所をすすめられました。

にゅうしょ かんが は や す
いずれは入所をと考えていましたが、まだ早過ぎる!!
という思いが強かったです。ですが「次にいつ空きが
でるかわからない」と言われ、入所を決めました。



にゅうしょ ねんじやく ひてい つづ あたま さ つづ
入所までの2年弱は、否定され続け、頭を下げ続けて、

わたし むすめ じんせい いちばんつら し き おも がっこう せんせい
私にとっても娘にとっても人生で一番辛い時期だったと思います。学校の先生
の様に個々の能力を見て対応してくれるとか、障害のタイプによって配慮してく
れるなどの期待は全く通用しません。「こういう工夫をしてくれれば理解できる
と思います」とお願いしても、施設側の型にはまらなければ無理と断られました。
しょうじき うら し せつ しごと しかた おも
正直、恨んだりしましたが、施設もお仕事なので仕方ないとも思いました。

にゅうしょじ か へ や み こと いま せいかつ おく
入所時はコロナ禍のため、部屋を見る事もできず、今どんな生活を送っている
かわかりませんが、特に苦情もなく穏やかに過ごしている様です。

にゅうしょ よ こと かんりえいよう しょくじ かげつ キロげんりょう けんこう
入所して良かった事は、管理栄養による食事で7ヶ月で20kg減量できた、健康
しんだん きん み じょきん ひんけつ とうやく かいぜん など けんこうめん
診断でピロリ菌が見つかり除菌した、貧血も投薬で改善した等の健康面です。

たんとく き わか しえんいん おお もんだいこうどう へ
それと、担当が決まっている、若い支援員さんが多い、問題行動を減らすために
くふう
工夫してくれることです。

おや じぶん こ よう とき むしょう しんぱい
さすがに親が自分の子を見る様にはいかないので時に無性に心配になりますが、
なるべく かんが 考えない様にしています。

ねんきん てつづ お せいかつ かね ばしょ かくほ こと おや
年金の手続きも終わり、生活するためのお金と場所を確保した事で、親がして
あげられる事はできたのかな、と思います。

+++ 身近にある障害者施設 & 事業所の紹介 +++ Part 2

《 就労支援事業所めばえ・グループホームあおば 》

6月13日（月）梅雨の晴れ間、上真木のバス停からの道は

細く「どこに事業所があるのだろう…？」と進んでいくと、

「めばえ」は、高い空と立派な木々に囲まれた自然豊かな広い敷地にありました。

平成20年5月に新しい作業棟ができ、平成21年3月から就労継続支援B型

「就労支援事業所めばえ」を開始。「めばえ」と言えばクッキーを作っているイメ

ージですが、他の作業にも取り組み、出来ることを増やすためにも、現在は8社か

らの下請けの仕事をしたり、古紙回収や農福連携で市内の農家さんの農作業

を共にを行っています。コロナ禍で売り上げは減少しましたが、皆さんで協力し

て取り組まれています。

大切にしていることは、①落ち着いて過ごせるように②個々の得意なことを

見極める③新しいことへの挑戦 だそうです。残念ながら、伺ったその日はクッ

キー作りのお休み日でしたが、とても清潔にされている作業場に感動。クッキー

は7種類ありますが、担当の利用者が成分表を見て、材料の軽量、ミキサーでま

ぜる、型抜き、オーブンで焼く、袋詰めまで、多くの行程を行っています。知的

部会の会員さんも多く、真剣に仕事されている姿、そして何より元気で過ごされ

ている姿を久しぶりに拝見することができました。

その後、平成27年4月に開所された「グループホーム

あおば」を見学させて頂きましたが、玄関の両側に建て

増し部屋がありました。利用されている5名は、一般就労

や障害福祉サービス事業所でお仕事をされていて、帰宅

後や休日はのんびりと自分の時間を過ごされているそうです。

大月駅の観光案内所や猿橋の農作

物直売所に「さるッキー」のクッキー

を探しに出かけてみてください。



《 しょうがいふくし じぎょうしょ おおつき 障害福祉サービス事業所 スカイコート大月 》

2016年4月1日に開設したスカイコート大月は、
当時の「重度の身体障害者、重複重度障害者の支援
学校卒業後の行き場が東部地域にはない!」という、
本当に切実な保護者の思いを受け止めてくれました。



旧浅利小学校を改装して、1階は障害児者のための生活介護と短期入所、日中
一時支援を行っています。2階3階は小規模型特別養護老人ホームとなっています。

水・木・金・土曜日に看護師が勤務、食事はきざみ・トロミの対応も可能、月1回の

リハビリなどの体制は高齢者と障害者の施設を併設している

利点です。現在はコロナ禍により、お花見、ハロウィン、流し

そうめん、クリスマス会などの季節の行事や音楽療法、ドッグ

セラピー等の多種多様なレクリエーションが出来ないそうです。



そんな中、畑の作業を始めるなどの工夫をしています。

また、積み木磨きの仕事（作業）もあります。障害の個人差

が大きいので、それぞれの好きな事、得意な事に合わせて

日中の活動をしていました。



そして保護者や現在の社会的な問題に対応して、昨年

11月からグループホームも開所しました。定員は7名です。

もしかしたら近い将来「親が2階の特養、子供がグループホーム」という同じ

施設内で生活出来る日が来るかもしれないと、期待してしまいます。



《今後の行事予定》

(行事ごとに、その都度、通知します)

※ コロナ感染状況など、事情により変更・中止もありますのでご理解ください。

全体の予定

8/20 (土)	「防災講演会・避難所間仕切りパーテーションづくり体験」
11/6 (日)	「社会見学」 南アルプス市方面 りんご狩り等
12/3 (土)	「障がい者理解普及啓発事業」 映画「咲む」上映会 福祉センター



各部会の予定

身体	9/5 (月)	身延・富士吉田方面 甲斐黄金村湯之奥金山博物館・忍野さかな公園
知的	11/19 (土)	フィットネス & バルーンアート 福祉センター
精神	7/24 (日)	ボーリング大会・交流会
児童	7/20 (土) 12月、2月	保護者交流会 クリスマスリース作りなど



＜編集後記＞

この春、とあるハイキングクラブに入会した。

平均年齢は70歳前後と思われる。代表＝ビックボスは85歳。毎月、数回の山行計画を立て、手書きの報告書を会員に郵送。会員との参加申し込み等の連絡は、スマホの絵文字入りのSNS。「以前は大月に住んでいたんですよ」と自己紹介すると、「大月はいいい所だね」と即答された。

連絡先【事務局】 大月市社会福祉協議会 地域福祉担当

大月市大月町花咲10番地 大月市総合福祉福祉センター1階
でんわ：23-2001 ファックス：22-2861
メール：kamijo-006@otsuki-shakyo.jp